

Chick Corea & Gary Burton

IN FUKUOKA

チック・コリア&ゲイリー・バートン

HOT HOUSE ジャパン・ツアー

with ハーレム・ストリング・カルテット

伝説のミュンヘンのコラボから40年あまり。
今なお進化を続けるピアノとヴィブラフォンの
美しき二重奏!

二人あわせて計27つのグラミー受賞を誇るデュオが、
グラミー最新受賞作「ホット・ハウス」を携え、
17年ぶりの来日決定!

両巨匠が織り成す重厚なサウンドに、新生
ハーレム・ストリング・カルテットも参加決定!
奇跡の競演をお見逃しなく!

🏆
グラミー賞27冠、
奇跡の競演!

6.26 2014 Thu OPEN 18:30
START 19:00

感動はぐくむ 未来へ
アクロス福岡 20th 福岡シンフォニーホール
福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡1階



チック・コリア(ピアノ)

ゲイリー・バートン(ヴィブラフォン)

Story of Chick Corea & Gary Burton

ジャズを特徴づける魅力のひとつは、偉大な才能を持ったアーティストが他者と協力しながら、それまで夢想だに
なかった素晴らしい音楽を創造しようと取り組むところにある。チック・コリアとゲイリー・バートンの場合、1972年
のあるフェスティバルのジャム・セッションから始まった。たまたま、その時のセッションに参加したのは、このピアニスト
とヴィブラフォン奏者の二人だけだったのである。その年の後半、二人は素晴らしいデュオ・アルバム「クリスタル
サイレンス」を録音した。「録音が終わったとき、二人で何かを成し遂げたことが私には分かったよ」とバートンは語
っている。「だから、そのとき言ったんだ。偶然の産物だけど、すごく特別なものを見つけた気がする」ってね。」
その後、二人は、1978年「デュエット」(グラミー賞受賞)、1979年「インコンサート」(グラミー賞受賞)、1982年に、
弦楽四重奏も交えた野心的な作品「セクステットのための抒情組曲」、1997年「ネイティブ・センス」(グラミー賞
受賞)、2008年「ニュー・クリスタル・サイレンス」(グラミー賞受賞)、そして2012年に「ホット・ハウス」をリリース
した。この「ホット・ハウス」も、2013年第55回グラミー賞を受賞。二人のデュオ・アルバム作のうち5作品がグラミ
ー賞を受賞するという驚異的な記録を作り、2014年、待望のジャパンツアーを迎える。2013年に55回目を迎えた
グラミー賞の歴史の中で、チック・コリアとゲイリー・バートンが受賞した数は合わせて27にものぼる。

その数が何を物語っているか…体験するべきではないかと思う。



ハーレム・ストリング・カルテット(弦楽四重奏)

世界最高峰のJAZZ。ぜひご堪能ください。

チケット一般発売 / 2014年2月23日(日)

TICKET S席¥12,000 / A席¥9,800
(税込 / 全席指定) B席¥8,000 / C席¥5,000

※未就学児童のご入場はお断りいたします。

※託児サービスを希望される方は裏面を御覧ください。

■アクロス福岡 チケットセンター TEL:092-725-9112

■ヨランダオフィス・チケットセンター TEL:0570-033-337(ナビダイヤル) 092-406-1771 (10:00~18:00)

■チケットぴあ TEL:0570-02-9999(Pコード:217-095) ※セブン-イレブン、サークルKサンクスでも購入可

■ローソンチケット TEL:0570-084-008(Lコード:81688)

■イープラス <http://eplus.jp/> ※ファミリーマートでも購入可

お問合せ / ヨランダオフィス・チケットセンター(10:00~18:00) TEL:0570-033-337(ナビダイヤル) 092-406-1771

主催 / FM FUKUOKA TVQ 九州放送 読売新聞社 ヨランダオフィス 共催 / 公益財団法人アクロス福岡 後援 / 福岡市 福岡市教育委員会

チック・コリア&ゲイリー・バートン

HOT HOUSE ジャパン・ツアー

with ハーレム・ストリング・カルテット

Chick Corea & Gary Burton

IN FUKUOKA



Chick Corea

チック・コリア (ピアノ)

1941年生まれ。全米芸術基金(NEA)ジャズ・マスターの称号に加え、グラミー賞を合計20回も受賞、米国の卓越した作曲家そして鍵盤の巨匠チック・コリアは、まさに生きる伝説と呼ばれるにふさわしい。比類ない創造性を発揮し、無数の芸術作品を生み出し続けてきた50年間に及ぶ軌跡には、ただただ圧倒されるばかりである。

輝かしい楽歴の中で生み出してきた音楽作品のジャンルは驚くほど多岐にわたり、メインストリームから前衛、ビバップからフュージョン、童謡、室内楽に及ぶほか、交響楽作品に至るまで幅広く手がけている。これら全てのジャンルで卓越した水準を維持していることには、畏敬の念を起こさせられる。

近年においても、ジャズ界に多大な影響を及ぼしている。それは、2007年「エンチャントメント」(バンジョーの名手ベラ・フレックとのデュオ)、2008年「ニュー・クリスタル・サイレンス」(ゲイリー・バートンとのデュオ)、2009年「ファイヴ・ピース・バンド・ライヴ」(ジョン・マクラフリン、クリスチャン・マクブライド、ケニー・ギャレット、ヴィニー・カリウタとの共演)で、毎年、グラミー賞を受賞。

スタンリー・クラーク、レニー・ホワイトとともに行ったアコースティック・トリオ・ツアーの模様を収めたアルバム「フォーエヴァー」は、2012年にふたつのグラミー賞を受賞した。

また、2012年には、3回の世界ツアーを行ったほか、4枚のアルバムを新たにリリースした。その4枚のアルバムのうちゲイリー・バートンとのデュオによる「ホット・ハウス」は、第55回グラミー賞を受賞。チック・コリアの精力的な活動は、今も途切れることなく、尽きることはない彼の創造性は、たゆむことなく、新たな地平を開拓し続けている。

Message from Chick Corea

長年の友人であるゲイリー・バートンと素晴らしい「弦楽四重奏団ハーレム・ストリング・カルテット」と共に、私の大好きな国＝日本に戻るの待ち遠しいです。彼らを日本に連れて行くことになりとても高揚しています。ジャパンツアーでは、これまでに書き溜めてきたピアノやヴィブラフォン、弦楽四重奏の楽曲はもちろん、最新アルバム「ホット・ハウス」の曲などを演奏する予定です。皆さんが私たちの演奏を聴いてくれますように! とても楽しみにしています!

Gary Burton

ゲイリー・バートン (ヴィブラフォン)

1943年生まれ。ヴィブラフォンを独学で習得し、4本のマレットを駆使する驚くべき奏法を考案したゲイリー・バートンは、ヴィブラフォンの新時代を開きあげた。17才でレコードデビュー、1963年にはピアニストのジョージ・シアリングのクインテットに参加、1964年から1966年にかけては、テナーサクソフーン奏者スタン・ゲッツのピアノレス・カルテットに加わって人気を博した。

1960年代半ば以降、リーダーとして頭角を現し始め、1966年に発表されたカントリー・ブルーグラス、ジャズを融合させた革新的な作品「テネシー・ファイアーバード」を皮切りに、1967年には、ラリー・コリエル、ステューヴ・スワロー、ロイ・ヘインズをフィーチャーし独創性に富んだアルバム「ダスター」や、カー・ブレイと共演した魅力的なアルバム「葬送」をリリース。その後、1969年には、バイオリンの巨匠ステファン・グラッペリと「バリのめぐり逢い」、1971年にはキース・ジャレットと「ゲイリー・バートン&キース・ジャレット」をリリースするなど、共演盤も少なくない。チック・コリアとのデュオ作品第1作は1972年に発表した「クリスタル・サイレンス」である。2002年、小曽根 真とのデュオアルバム「ヴァーチュオーション」が、グラミー賞の「クラシック部門」にノミネートされたことも話題をよんだ。

演奏家として世界のジャズ・シーンを牽引するかわり、教育の分野でも活躍し、多くの一流ミュージシャンを育てた。1971年よりパーカー音楽大学で教鞭を執り始め、1989年に同大学より名誉音楽博士号を授けられた。1996年から同大学の副学長を務め、2003年、30年に及ぶパーカー音楽大学での役職にピリオドを打った後は、ボストンからフロリダに拠点を移し、現在も世界各地で精力的な演奏活動を行っている。

Message from Gary Burton

良質なジャズ・オーディエンスがいる日本での演奏は常に脅威です。今回、チックと私は素晴らしい「弦楽四重奏団：ハーレム・ストリング・カルテット」を連れていきます。この弦楽四重奏が加わることで私たちのピアノとヴィブラフォンは完璧なものとなり、彼らとのコンサートは私たちの長いコラボレーションの中でも最高の出来に数えられると思っています。この新しい音楽を日本のファンに紹介できるのが待ちきれません!

Harlem String Quartet

ハーレム・ストリング・カルテット (弦楽四重奏)

ハーレム・ストリング・カルテットは、2006年、スフィンクス・オーガニゼーションによって結成され、同年、カーネギー・ホールにて公式デビュー。「ウィズ・バナナッシュ (堂々たる演奏)」とニューヨークタイムズで賞賛され、他紙でも「新鮮でさわやかかつ知的な姿勢をクラシックにもたらした」と評された。その後、ニューヨークを拠点に、全米をはじめ、カナダ、ヨーロッパ、南アフリカで演奏。2007年に、「Take the "A" Train」でCDデビューし、その年のStrings magazineで脚光を浴びたほか、テレビやラジオでも度々紹介されている。2009年にはホワイトハウスでオバマ大統領と夫人のために演奏し、同年10月、在英米大使館での演奏でヨーロッパデビューを飾った。それぞれがソロアーティストとしても、ニューヨークフィル、ボストン・ポップスをはじめアトランタ、ボルティモア、クリーヴランド、デトロイトなどの交響楽団に参加するなど豊富な経験を持つ。アンサンブルとしても、様々なオーケストラと共演しており、2012年6月に、弦楽四重奏とオーケストラのためのジャズアレンジで「ウエスト・サイド・ストーリー」を世界初披露した。その後複数のオーケストラと同曲を演奏、シカゴ・シカゴ・エッセツととも録音したCDも発売されている。世界中での室内楽の演奏に加え、チック・コリアやゲイリー・バートンといったジャズの大家とも親しく仕事をしており、彼らのグラミー受賞作「ホット・ハウス」のレコーディング、およびツアーに参加している。

バイオリン: イルマー・ガビラン メリッサ・ホワイト
ビオラ: フラン・ミゲル・ヘルナンデス
チェロ: ポール・ウィアンコ

Message from Harlem String Quartet

チック・コリア、ゲイリー・バートンとのジャパンツアーはとてもエキサイティングです! 来日は素晴らしい体験です。この機会が日本のオーディエンスと私たちの長い関係の始まりになりますように!

6月26日(木) 開場 18:30 開演 19:00

福岡シンフォニーホール

福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡1階

主催 / FM FUKUOKA TVQ 九州放送 読売新聞社 ヨランダオフィス

共催 / 公益財団法人アクロス福岡 後援 / 福岡市 福岡市教育委員会

公演・チケットに関するお問合せ

ヨランダオフィス・チケットセンター
(10:00~18:00)

TEL: 0570-033-337 (ナビダイヤル)

TEL: 092-406-1771

託児サービスの御案内

託児サービス (生後4ヶ月から小学校入学前のお子様) を御希望の方は、チケット御購入の後、下記にお申込み下さい。受付は前日まで (定員になり次第締め切らせて頂くことがあります)

なお、託児料の一部としてお子様一人につき1,000円 (消費税込) をご負担いただきます。

テノ. コーポレーション (月~金曜日 9:00~18:00) ☎ 0120-8000-29 TEL. (092) 263-8040

チック・コリア、ゲイリー・バートン
最新デュオアルバム!

HOT HOUSE CONCORD / 2,600円

1972年、ミュンヘンのジャズ・フェスティバルで行った2人のジャム・セッションを捉えて、ECMの総帥＝マンフレート・アイヒャーがセッション直後のバック・ステージでレコーディングの打診を行い、かの名盤「クリスタル・サイレンス」が生まれたという伝説の黄金コンビ、チック・コリアとゲイリー・バートン。計6作のデュオ作を残し、数多くの賞賛を浴びてきた2人が約15年ぶりにレコーディングした、最新スタジオ・アルバム!

